

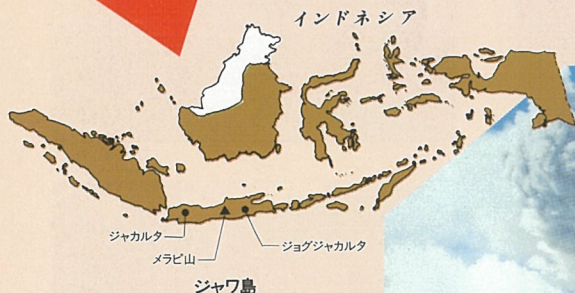
文部省選定
海外取材
シリーズ

●対象＝中学・高校・一般/地理・防災技術・国際協力

ふもと

メラピ火山の麓の村で

——インドネシアの砂防——



●規格

16ミリ・カラー・21分＝150,000円

VTR＝40,000円

●企画

国際協力事業団

●スタッフ

製作＝村山英世

脚本＝村山正実＋花崎 哲

演出＝花崎 哲

撮影＝大野 洋＋山屋恵司

録音＝伊藤 亨

編集＝加納宗子

解説＝山本 學



噴火するメラピ火山

●——あらすじ

インドネシアは日本と同様、火山災害の多い国である。とくに噴火によって噴き出された土砂が熱帯の強烈なスコールによって押し流される土石流（火山泥流）は、多くの人々の生命を奪い、田畑を土砂で埋め、山麓に住む人々に甚大な被害をおよぼしてきた。

古都ジョグジャカルタ市のあるメラピ山麓は、豊かな穀倉地帯であるにもかかわらず、たびたびそうした土石流に襲われる危険地帯であった。

こうした永年にわたる土石流災害をくいとめるため調査団が日本から派遣された。調査団は火山の土砂が堆積している源流地帯や土石流に襲われた村をたずねて、当時の話を聞いた。こうしてできた防災計画は山麓の川に砂防施設を配置することと、警報システムをつくることを骨子としていた。

そして砂防工事の技術者を養成するためにジョグジャカルタ市に火山砂防技術センターがつくられ、そこでは日本の砂防の専門家も指導にあたっている。

スバルカさんは、そのセンターの教員の一人である。しかし技術の遅れ、機械や資材の不足と難問が山積していて、どうやって技術者を養成していくか彼は頭を悩ませていた。

そんな時、彼は警報システムについて学ぶため、日本に研修に行くことになった……。

砂 防：ダムや堤防、植林などによって山腹の崩壊、土砂の流出や移動を調節し、土砂災害から人々の生命や財産を守ること。

土石流：豪雨などによって山の斜面が崩れ、水を含んだ大量の土砂が、渓流や谷底にたまっていた石や岩を伴って、一挙に流れ出す現象。

●——解説

今日、国際協力は、さまざまな形で取り組み、今後ますます活発になっていこうとしている。

しかしそこにおいて大切なことは、どのようにして人々に喜ばれる生きた協力ができるか、ということと、そのための技術をどうやってその国に根づかせることができるか、というところにある。そして、そうした技術協力の基礎は「人づくり」にあると言われている。

ここでは、インドネシアのメラピ山麓を舞台に、自然の災害から人々の生命と暮らしを守る砂防の仕事における国際協力を素材に、そこで行なわれている「人づくり」の協力の姿を紹介し、同時に、国土の建設に取りくむインドネシアの若い技術者の熱意、悩み、喜びを描こうとしている。

映画はまた、背景になっているインドネシアの自然と人々の生活、またボロボドゥールやワヤン芝居に代表される中部ジャワの文化についても興味深く描き、インドネシアへの理解と関心を深めるものとなっている。

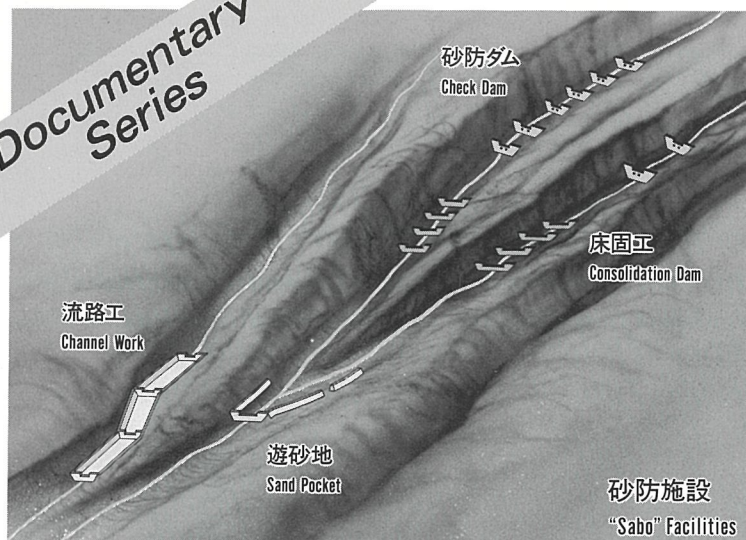
砂防ダム
建設風景



●製作/ 株式会社 桜映画社 東京都渋谷区代々木1-57-1 代々木センタービル
〒151 TEL 03(3320)6311 FAX 03(3320)7666

●配給/

**Documentary
Series**



Mt. Merapi



a Farm Village



Borobudur

Mt. MERAPI AND THE LIFE OF VILLAGERS

— No More Mudflows —

16mm • VTR(Beta, VHS only)/color/21min./English, Japanese

Planned by : Japan International Cooperation Agency (JICA)

Produced by : Sakura Motion Picture Co., Ltd.

Cooperation : Ministry of Public Works, Indonesia

Synopsis

Like Japan, Indonesia suffers frequent volcanic disasters. Particularly, an enormous volume of ejection is pushed down by the violent squall of a tropical zone, and turns into a volcanic mudflow, often playing tremendous havoc with widespread areas around the mountain foot, burying fields and rice paddies and taking many lives. The foot of Mt. Merapi near the ancient capital of Jogjakarta is a granary of the country, but it has also been a dangerous area, often hit by disastrous mudflows.

To prevent the damages caused by such mudflows, a Japanese survey team was dispatched to the Merapi area. The team members visited water sources where volcanic mud and lava were deposited and villages attacked by the mudflow where they listened to people who remembered the disaster. As a result of their research,

a disaster prevention project was worked out. It consisted of plans for building "Sabo" (sand & mud control) facilities on the rivers around the mountain foot, and for installing warning systems.

To train technicians and engineers for "Sabo" construction, the Volcanic "Sabo" Technical Centre was established where "Sabo" specialists from Japan were giving instruction to the trainees.

Mr. Subalka was one of the instructors at this centre. He was racking his brains how to train the trainee engineers, coping with mounting problems such as technical disadvantages and insufficient machinery and materials.

It was about that time when he was given a chance to visit Japan to learn about warning systems....

Distributed by : Sakura Motion Picture Co., Ltd.

Standard Bldg., 22-1, Nishi-Shinjuku 1-chome, Shinjuku-ku Tokyo 160, Japan

Phone : 342-5768 Cable : SAKURAMOVIES, Tokyo

Telex : J34799 ITCINBTH (Public Booth) Registered No. ITC 347